



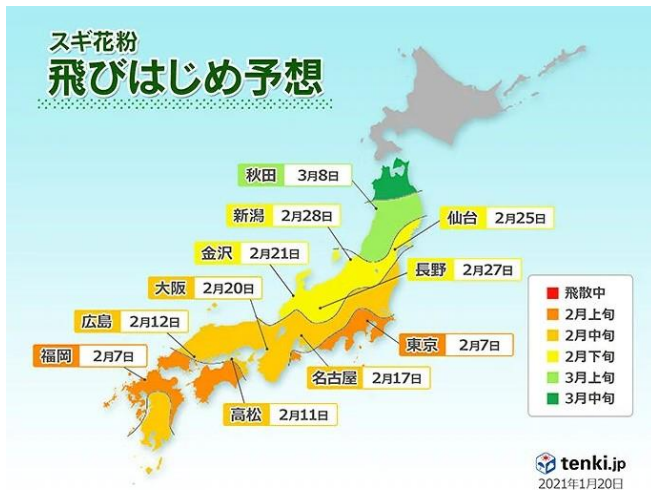
勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集中

# 美心会だより

## コロナ下で花粉症間近！

花粉の症状によって起きやすい、くしゃみをする、目をこする、といった動作は、新型コロナウイルス感染症の拡大につながりかねない。そうしたことを防ぐためにも、2021年はこれまで以上に徹底した花粉症対策が求められる。そんな今シーズン、花粉症の重症患者向け注射治療の新薬「ゾレア」がいよいよ本格普及する。どんな人に使えるのか気になる効果や手順は？



### 自分に合った適切な薬を選ぶこと

花粉症の症状をもたらす体内のIgE抗体をターゲットとした重症患者向けの抗IgE抗体医薬「ゾレア」（一般名：オマリズマブ）の登場で花粉症治療薬の武器がそろった。日本医科大学大学院の大久保公裕教授は「大切なのは自分の症状の程度や、仕事、生活習慣などを医師と分析し、適切な治療戦略を練ること」と話す。

### 軽症者は市販薬でコントロールできることも

花粉症の治療薬には薬局などで購入できる薬もあり、近年、第2世代の抗ヒスタミン薬のなかでも長く使われ、有効性と安全性が確かめられたものはスイッチOTC（処方薬から市販薬に切り替わったもの）とし

て市販されている。

例えば、薬剤師のいる薬局で対面販売に限って購入できる（通販不可）「要指導医薬品」としてステロイド鼻噴霧薬のフルチカゾンプロピオン酸エステル（商品名：フルナーゼ点鼻薬）がある。通販が可能な「一般用医薬品」としては、ロラタジン（商品名：クラリチンEX、第1類医薬品）やフェキソフェナジン塩酸塩（商品名：アレグラFXなど）、エピナスチン塩酸塩（商品名：アレジオン20など）など（いずれも第2類医薬品）がよく知られている。「症状が出たときだけ飲みたい」という比較的軽症の人は薬局で買える薬でコントロールしてもいいだろう。

### 市販薬では効果に満足できないときは

市販薬で効果に満足できない場合は、医療機関に相談したい。医師は、血液を採取し花粉症の原因物質を探るアレルギー検査で原因がスギ花粉なのか、ヒノキ花粉か、あるいはハウスダストかなどを明らかにした上で、患者の鼻腔粘膜や目の結膜などの症状を総合的に判断して治療法を提案する。

現在、治療の基礎となるのは第2世代の抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬などの飲み薬だ。



こうした薬は症状が少し出たタイミングで飲み始めると症状が軽くなるといわれる（このような予防治療を「初期療法」と呼ぶ）。もちろん、初期療法などを行っても、花粉の飛散量が多く、症状が出てしまったときは、薬の種類を変更し自分に合った薬を探ることも